**安倍首相が来県　３カ所で山本氏応援演説　アベノミクス成果強調**

　安倍晋三首相が十日、参院選（六月二十二日公示、七月十日投開票）の三重選挙区（改選数一）に自民党から立候補を予定する山本佐知子氏(48)の応援で来県した。演説ではアベノミクスの成果を強調し「この道を力強く進め、国民生活を豊かにしたい」と訴えた。

　安倍首相はこの日午後、鈴鹿市算所二丁目の弁天山公園で演説した後、桑名駅前のロータリーでも街頭演説に立った。夜は四日市市文化会館で開かれた山本氏の「四日市決起大会」に出席した。いずれの会場にも約二千人（主催者発表）が訪れた。

　弁天山公園では、有効求人倍率の上昇や中小企業の倒産件数減少などを「アベノミクスによる成果」と強調。「まだ不十分であることは認めなければならないが、この道を力強く進めてデフレから脱却し、国民生活を豊かにしたい」と訴えた。

　その上で、今回の参院選について「最大のテーマは経済政策」とし「経済政策を前に進めて日本をもっと豊かにするのか、それとも逆戻りして暗い停滞した時代に戻るのか。前進か後退かを決める選挙だからこそ、負けるわけにはいかない」と述べた。

　主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）にも言及。首脳らの夕食で、乾杯に鈴鹿市内の酒が首脳らに振る舞われたと紹介し「おかげさまで和やかな雰囲気でサミットは成功裏に終わった。素晴らしい三重県の美しい景色と伝統と文化を世界に発信できた」と述べた。

　山本氏について「観光振興の専門家」と紹介した上で「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録に向けて尽力したことを強調。「山本さんの力を使って三重県や鈴鹿市の素晴らしさを世界に発信していこうではありませんか」と呼び掛けた。  
　参院選三重選挙区には山本氏のほか、民進党現職の芝博一氏(66)と幸福実現党新人の野原典子氏(59)が立候補する予定。芝氏は同日、安保法制廃止を求める若者の組織「シールズ東海」と津市で懇談。野原氏は四日市市の選挙事務所で報道陣の事前取材に応じた。